



オンライン開催

MIA

参加費無料

日本語ボランティアセミナー

「Can do」に着目した日本語学習支援について
～島根の事例をもとに考えよう～

「日本語教育の参照枠」の考え方と「生活Can do」をどう現場で活かすか、実践的な手法が学べる研修会です。島根県の事例紹介と具体的な支援方法を考えるワークを通して、これからの活動をより良いものにするヒントを探ります。ぜひご参加ください。

日時 2026年2月21日(土) 10:00～12:00

web会議ツールZoom使用

- 講師 仙田武司さん（しまね国際センター 事務局次長）
岩田和美さん（しまね国際センター 地域日本語教育コーディネーター）
- 対象 宮城県内在住で日本語学習支援の活動をしている方・関心のある方
- 定員 40名

▶お申し込み方法1

Google フォーム

<https://mia-miyagi.jp/260221seminar>

上記URLまたはQRコードからアクセスして必要事項を入力してください。



▶お申し込み方法2

メール

mail@mia-miyagi.jp

※次のことをお知らせください。

①お名前 ②メールアドレス ③電話番号

④所属団体（「MIA日本語サポーター」の方はその旨お書きください。）

☞「日本語教育の参照枠」

日本語習得の段階ごとに学習・教授・評価のあり方を示したもの。2021年に国の文化審議会国語分科会が公表。

☞「生活Can do」

国内に暮らす外国人が、日常生活のさまざまな場面において、日本語を使って行う言語活動の例を約800項目まとめたもの。「日本語教育の参照枠」に示された分野別Can-doリストの一つ。

主催：公益財団法人宮城県国際化協会(MIA) ※宮城県委託事業

文部科学省 令和7年度「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用

